

朝刊 2024/06/18(火)

第3種郵便物認可



九州総体ハンドボール女子で優勝した浦添＝福岡県
・久留米アリーナ（提供）

浦添、26年ぶり頂点

女子 堅守速攻で大差快勝



ハンドボール

(博多の森テニス競技場ほか)

▽女子決勝

浦添 31(13-9)19 ルーテル学院
(熊本)

▽男子決勝

熊本マリ 38(17-16)34 国分
スト学園 (鹿児島)

GK仲西 ピンチ救う

浦添が26年ぶり3度目の優勝を果たした。今年5月の招待試合では10点差をつけられて敗れたルーテル学院(熊本)を相手に、31-19で快勝した。

主将の又吉叶は「ここで必ず勝つ思いだった。とてもうれしい」と喜んだ。

前半から持ち味の守備で相手の攻撃を封じて流れをつくり、13-9で折り返した。後半は速攻がさえてさらに点差を広げ、相手を目指だった20点以下に抑えて危なげなかった。

キーパーの仲西涼夏(3年)の活躍も大きかった。仲西は「勝負どころのロングとサイドからのシュートをしっかり止められた。全国では精度を

さらに高めてチームのピンチを救いたい」と意欲を見せた。

左45度のエースポジションの新垣陽咲(3年)はディフェンスの上から打つシュートでチームの勝利に貢献した。新垣は「チームを信じてプレーしていたから緊張はしなかった」とチームの強い絆を感じさせた。

次に向かうは全国の舞台。又吉は「攻撃的なディフェンスを生かして優勝を目指したい」とさらなる活躍を誓った。
(國吉楓乃)